



# 「手をつなぎ 心ときめく 石巻」の ～平成17年度施政方針～ 実現を目指して

今月は、平成17年度の施政方針をお知らせします。

「施政方針」は、市長が市政運営についての基本的な考え方や重点施策などを、市民の皆さんに示すものです。

今年度は、新「石巻市」がスタートした記念すべき年です。

合併前の各地域の個性や特色を大事にしながら、「市民の目線、視点」に立って、「手をつなぎ 心ときめく 石巻」の実現を目指します。

## 新「石巻市」の

## スタートにあたって

旧1市6町は豊かな自然に恵まれ、特色ある歴史や文化、産業が蓄積されてきています。それらを新市に引き継ぎ、豊富な資源をつなぎ合わせて、地域づくりの可能性を引き出していきます。また、今、やらなければならぬことをしっかりと見極め、迅速に実行していきます。

そして、市民の皆様は「合併してよかった」と言われるよう、「宮城県第二の都市として誇れる石巻」を、「心ときめく石巻」を市民と一緒に築きあげ、次の世代に責任を持って引き継いでいけるように、全力で市政運営に取り組んでいきます。

くりを目指すためには、新市の一体感の醸成を図ることが何より肝要です。

17万市民の心をひとつにするための事業として、マスターズ（熟年世代）のスポーツ大会や旧1市6町の伝統芸能の競演大会などを実施し、スポーツや文化活動を通じた交流を推進して、市民の一体融和に努めます。

また、合併という歴史的な大事業を成し遂げたことを記念し、「新生石巻市合併記念式典」をはじめとした各種記念事業を実施し、新たに誕生した「石巻市」を市民とともに祝い、将来にわたる限りない発展を誓い合います。

## 基本理念は

## 「明るく」「楽しく」「元気よく」

新「石巻市」の市政運営に当たり、次の3つを基本理念とします。

第一は、**明るく**です。

すなわち、市民の皆様の「快適・幸福」を願い、「先人から引き継いだ豊かな自然と共生し、誰もが笑顔で安心な生活を送り、幸福を実感できるまち」を目指します。

第二は、**楽しく**です。

すなわち、市民の皆様の参画による「協働・創造」で、共に汗をかき、知恵を出し合い、「市民がまちづくりの主役となり、みんなで参加し、みんなですくすく創造力に満ちたまち」の実現に向け努力します。

第三は、**元気よく**です。

すなわち、市民の皆様は「個性・活力」を大いに発揮していただき、「歴史と文化・自然と産業、そして人が輝く地域の個性を活かし、調和のとれた活力あふれるまち」を、みんなで作っていきましょう。

## 5つの項目を

## 重点的に

本年度の市政運営に当たっては、次の5つの項目について重点的に取り組んでいきます。

### ① 新市の一体感の醸成

市民が仲良く手を取り合い、そして心をひとつにしてまちづくり

各地域がそれぞれの個性を發揮し、地域資源を生かしながら、それぞれに輝くことにより、相乗効果が生まれて、市民の心が自然的に一体的に融和されていくものと考えます。

## ② 市民との協働によるまちづくり

新市におきましては、あらゆる分野で市民と行政との協働が不可欠です。

協働のまちづくりを進めるためには、地域の課題を市民と行政が共有しながら、課題の解決に向けて相互に連携し、共に担い手となつて地域の潜在力を十分に発揮できるシステムを構築する必要があります。

そのひとつが、各総合支所単位に設置する「地域まちづくり委員会」です。

市民の思いをくみ取りながら、周囲の声を傾け、「心揺さぶられるまち石巻」をつくっていきます。

市政運営の指針となる「総合計画」の策定に当たりましても、「地域まちづくり委員会」による提言のほか、広く市民参加をお願いするとともに、パブリックコメント(※)や地域説明会なども開催し、まちづくりの原点である「市民と行政との協働」を実践します。

市民参加による市政として、「市長室開放デー」を実施するほか、各総合支所においても、移動市長室「市長と話す・茶屋」を実施するなど、より多くの市

民の方と対話を重ね、市政の透明性の確保と、より開かれた行政を目指します。

※ パブリックコメントとは、政策の立案に当たって広く市民に素案を公表し、その案に対する意見や情報を提供していただいで最終的な意思決定に活かす仕組みです。

## ③ 行財政改革

行財政運営を改革するには、「市民の目線・視点」が原点です。このことを踏まえ、「石巻市行財政改革大綱」を策定し、民間の経営感覚を取り入れた市政運営を目指します。

合併のスケールメリットを最大限活かすためにも、簡素で効率的な行政組織への再編に向け、本年度中に「職員定員適正化計画」を策定し、人件費の抑制に努めます。

また、納税者に信頼される税務行政を確立し、旧1市6町から引き継いだ滞納繰越額の縮減を図るため、滞納整理体制を強化し、収納率を向上させ、自主財源の確保に努めていきます。

一方では、各種事業における民間委託の拡大に取り組むほか、NPO団体などとの協働に努め、指定管理者制度の導入により、公共施設の管理運営を効率的に

行うなど、行政コストを削減していきます。

## ④ 防犯・防災対策

高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震など、有事の危機管理に対応するための体制を早急に整えなければなりません。

特に、本市は合併により原子力発電所立地自治体となりましたので、原子力防災対策も含めた新たな「地域防災計画」を早急に策定するとともに、有事に備えた防災訓練を充実していきます。

さらに、高齢者や障害者など、災害時に援護が必要な方への具体的な避難支援計画を策定するため、消防団、自主防災組織、福祉団体および町内会などで構成される協議会を立ち上げ、災害に強いまちづくりを推進していきます。

また、未来を担う子どもたちが、安心して暮らせるよう、防災面では、教育施設や公共施設の耐震診断を計画的に進めます。防犯面では、「不審者対策ネットワーク事業」を充実させるとともに、学校敷地内への不審者の侵入防止など、学校における安全対策を講じるため、関係団体と連携した「学校安全委員会」

を設置し、児童生徒の安全確保を図っていきます。

## ⑤ 産業振興と観光戦略

新「石巻市」は、海、山、川、島など、変化に富んだ豊かな自然や地域資源に恵まれており、先人が培った文化、伝統芸能、その地域ならではの産品などを豊富に有しています。

これら各地域の恵まれた自然と豊かな食材、「サン・ファン館」や「石ノ森萬画館」、「上品の郷」などの点在する観光スポットを連携させ、「新たな観光戦略プラン」を策定し、観光客の誘致を図り、地域経済の活性化に結び付けていきます。

また、地場産業の振興と雇用の拡大を図るため、「(仮称)産学官による石巻経済戦略会議」を立ち上げ、実効性のある産業育成策を企画し実践していきます。さらには、廃棄物燃料やプラスチック固形燃料など、廃棄物を資源として活用するリサイクルエネルギーの事業化を推進することにより、廃棄物の減量化と新産業および雇用の創出を図ります。

## 地域の輝きを

## 新市の輝きに

今年度は新市の「市制施行元

年」という、歴史に刻まれる輝かしい年です。

旧1市6町の願いをくみ取りながら、地域の個性や特色の一つ一つに目を向けるとともに、多くの市民の方々と対話を重ねながら市政運営に当たっていきます。

そして、一人ひとりの市民の喜びを私(市長)の喜びとし、一つ一つの地域の輝きを新市の輝きとして、「市民一人ひとりが手を取り合い、心ときめきを感じられるまち」の実現を図っていきます。

☆ ☆ ☆

※ 施政方針では、「新市まちづくり計画」の7つの基本方針に基づいて主要施策を定めていますが、内容については、5ページの「一般会計予算の主な内容」と重複する点が多いため省略しています。



北村小学校 新1年生